



サイクルフェスタ実行委員長

前田進一さん

和菓子店経営者。2004年の埼玉国体では、係員として立哨を行っていた。その後、自転車を始め、2013年にマナーアップを兼ねたイベント「第1回グリーンサイクルフェスタ（現在のサイクルフェスタ）」を仲間とともに開催。いつもアクティブな68歳。玉川地内在住。

自転車は良いですよ！
私は埼玉国体の頃に自転車を始めて、今は2台目です。自転車は良いですよ！体を動かすから健康にもいいし、排ガスを出さないからクリーン。年だから過激な運動はできないので、生活の中で取り入れられる運動として、自転車は最適です。膝の痛みも治ったし、四季の景色を楽しめる。他の人も薦めたいですね。

サイクルリストを快く迎えよう
迎える側としての意識も変わりました。自動車に乗っているときに自転車の側方を通過するときは1.5m以上の安全な間隔を保つようになりました。これからもサイクルリストにマナーの啓発を呼びかけていくつもりです。実行委員会のボランティアメンバーは9人ですが、大会はたくさんの方の力が手伝ってくれるので、いつもありがたく思っています。



ときがわ町サイクルフェスタでの集合写真。

増える自転車と自動車のトラブル… サイクルリストのマナーアップのため、 町内のサイクルリストが動き出した

町もサイクルリストを歓迎しています！



サイクルリストの拠点整備

自転車を車載して来訪するサイクルリストの拠点として、ふれあいの里たまがわの駐車場を平成24年に拡張しました。



町内の観光施設へ駐輪ラックの設置

町内の町有観光施設に駐輪ラックと空気入れを設置しています。サイクルリストの意見を取り入れ、施設利用時でも見える場所に設置されています。また、ラックの設置費の補助も行っていました（現在は終了）。



その他、マナーUP啓発看板や、のぼり旗の設置も行っています。

ふるさと納税の寄附対象事業

ふるさと納税の寄附対象事業として、サイクリング環境整備事業を設定しています。ご寄附いただいた方には、サイクリングに関連したイベントのご案内をしています。

国 体の舞台となった2004年から、サイクルリストが増えていったときがわ町。しかし、自転車と自動車の通行トラブルや、互いを悪く言う声が聞こえてくるようになりました。

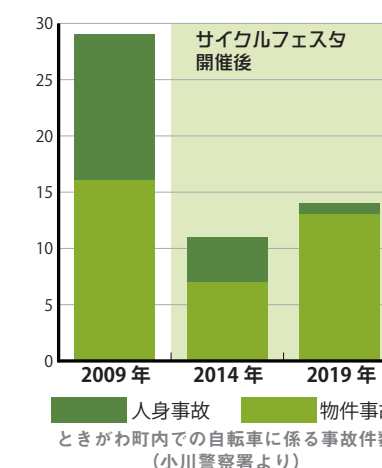
その状況に危機感を感じた町内のサイクルリストたちが、サイクルリストのマナーアップに向けて動き出しました。それは「タイムよりマナー」を重視する大会を開催すること。その名も「ときがわ町サイクルフェスタ」。ボランティアスタッフ、初心者から上級者までを対象に、第1回大会を2013年9月に開催。大会では、道路を走る際のルールやマナーから自転車の簡単な点検方法までを説明。タイムよりもマナーを訴え、安全でゆとりを持ったサイクリングを提案しました。また、町内外のサイクルリストに町の魅力を伝え、地域の活性化にもつながりました。第1回大会を盛大に終え、以降、年

に2回程度開催しています。

この効果は大きく、第11回の開催頃には、地元住民から、マナーアップにつながっているという声も聞こえるようになりました。小川警察署の情報によると、実際に事故の報告件数が減っており、着実にマナーアップが浸透していることがわかります（右図参照）。イベント自体の魅力もあり、今では全国から400人を超える参加者が集まる一大イベントとなりました。

残念ながら第13回大会は台風19号の影響もあり開催を見合わせる事となりました。しかし、また次回以降の開催も計画されており、これからもサイクルリストたちに、マナーと町の魅力がより深く浸透していくことでしょう。

「タイムよりマナー」。サイクルリストだけでなく、道路を使うすべての人が心掛けたいですね。



サイクルリストの聖地・ときがわ。

多くのサイクルリストが目指す場所。それがときがわ町にあるということは、誇りに思っていることだと思います。それを目指して訪れてくるサイクルリストに、歓迎の気持ちで迎えてみてはいかがでしょうか。もしくは、ご自身で自転車を始めてみるのも良いかもしれません。そして、交通ルールとマナーを守りましょう。自動車も、自転車も、歩行者も。

